

2001年平和旬間

## 平和祈願ミサ（8/12）式次第

Good afternoon. Thank you for your coming to celebrate with us the Holy Mass for Peace.

In response to Pope John Paul 2nd's peace appeal during his 1981 visit to Japan, the Catholic Bishops' Conference of Japan decided in 1982 that the ten days from the anniversary day of the atomic bombing of Hiroshima (August 6<sup>th</sup>) to the feast of the Assumption (August 15<sup>th</sup>) are to be a period to confirm the responsibility of the Church in Japan to pray and work for peace.

こんにちは。暑い中を大阪教区平和祈願ミサにお集まりくださったことに感謝いたします。司教団は1982年、教皇ヨハネ・パウロ二世による広島での「平和アピール」に応え、ヒロシマ原爆投下の8月6日から聖母被昇天祭の8月15日までを「平和旬間」とし、アジア太平洋戦争における日本のカトリック教会の責任を明確にしつつ、平和のために祈り行動していくことを決定しました。

Now, the theme of today's event is "The peaceful mind that we would like to learn from the people in Okinawa — it is life that is our treasure." In the previous lecture session we knew agony and hardship of the people of Okinawa during the war and up to the present. And also we knew their treasure, that is life. So during this solemn celebration, let us engrave in our minds the memory of those victims of wars and violence in Okinawa and those in all over the world.

And conscious of their eternal rest in Christ, and their share of the joy of Christ's resurrection, let us plead with our God for forgiveness

of our sins of negligence and irresponsibility for their painful appeal for justice. Lastly, aspiring after the realization of Christ's peace on earth, let us ask of the same God the grace for our understanding the importance of life and peace.

今年の「平和旬間」のテーマは、「沖縄から学ぶ平和のこころ — ヌチドウタカラ（命こそ宝）」です。講演で、戦争中、また今に至るまでの沖縄の人たちの苦しみ、また、彼らの宝、すなわち、命について語っていただきました。したがって、この荘厳なミサにおいて。私たちは。沖縄また世界中いたるところで、戦争や暴力の犠牲にあった人たちのことを心に刻みたく思います。また、彼らがキリストの内において永遠の休息と復活の喜びを分かち合っていることを確信しながら、正義実現を願う彼らの訴えにたいする私たちの無関心と、無責任さの罪の許しを神に願いましょう。最後に、キリストの平和が地上に実現することを熱望しながら、私たちが命と平和の大切さを理解できる恵みを祈りましょう。

Our offering in the Mass will be donated to the following peace-promoting women's organizations in Okinawa. 1) Listen to Women's Voice network, 2) NO, new U.S. Bases! Yambaru Women Network, 3) We are Against U.S.Bases, Militarism! Active Women's Organization.

本日のミサ献金は、沖縄で平和のために活躍している女性活動団体に寄付されます。  
①心に届け！女たちのネットワーク、②新たな基地はいらない！やんばる女性ネット、  
③基地・軍隊を許さない行動する女たちの会。

## 開 祭

Our auxiliary bishop of Osaka, Michael Goro Matsuura, presides over the Mass for Peace.

お立ちください。ただいまより、松浦悟郎補佐司教主司式による平和祈願ミサがささげられます。墨字パンフ7ページ、点字パンフ1ページ、入祭の歌、「主に賛美」を歌いましょう。

## あいさつと回心

司式者 父と子と聖霊のみ名によって。  
参加者 アーメン

司式者 みなさん、私たちは、聖霊によって、今日ここに一つにあつめられました。いつも共にいてくださる主キリストの恵みと祝福がみなさんとともに。  
参加者 また司祭とともに。

司式者 みなさん、私たちは、平和祈願ミサをともに捧げるために、一つに招かれました。神のことはとキリストのからだを分かち合いながら、賛美と感謝を捧げる前に、私たちの心をあらため、神と兄弟姉妹にゆるしを求めましょう。

先唱者 平和を求める私たちに主の道を示し、その歩みを力強く支えてくださる  
主よ、あわれみたまえ。

参加者 主よ、あわれみたまえ。

先唱者 すべての人を救うために、みずからの命を捧げられた  
キリスト、あわれみたまえ。

参加者 キリスト、あわれみたまえ。

先唱者 復活の勝利に私たちを導いて下さる  
主よ、あわれみたまえ。

参加者 主よ、あわれみたまえ。

司式者 全能の神が 私たちをあわれみ、罪をゆるし、永遠のいのちに導いてくださいます  
ように。  
参加者 アーメン。

## 集会祈願

司式者 正義と平和の源である神よ、あなたは争いを憎み、思い上がる者を打ち砕かれます。  
世界を悪の力から守り、苦しみと涙を私たちから取り除いてください。  
全ての人があなただの子どもとして平和のうちに生きることができますように。  
聖霊の交わりの中で、あなたとともに世々に生き 支配しておられる御子  
わたしたちの主イエス・キリストによって。  
参加者 アーメン。

## ことばの典礼

Now we are going to begin the Liturgy of the Word. The second chapter of Isaiah

will be read in Hangul.

これよりことばの典礼にはいります。ご着席ください。イザヤの預言 2 章 2 節～ 5 節をハングル語で読んでいただきます。点字パンフ 4 ページ、墨字パンフ 2 ページ。

### 第一朗読 イザヤの預言 2 章 2～5

終わりの日に  
主の神殿の山は、山々の頭として堅く立ちどの峰よりも高くそびえる。  
国々はこぞって大河のようにそこに向かい多くの民が来て言う。  
「主の山に登り、ヤコブの神の家に行こう。主は私たちに道を示される。  
私たちはその道を歩もう」と。  
主の教えはシオンから 御言葉はエルサレムから出る。  
主は国々の争いを裁き、多くの民を戒められる。  
彼らは剣を打ち直して鋤とし 槍を打ち直して鎌とする。  
国は国に向かって剣をあげず もはや戦うことを学ばない。  
ヤコブの家よ、主の光の中を歩もう。

答 唱 ♪「ヌチドゥタカラ（命こそ宝）」

As the Responsorial Psalm we sing Chapter 85 of Psalm. Please respond “Nuchidoutakara.” Nuchidoutakara is Okinawa Dialect, meaning “it is life that is important.”

いまいただいた神のことばに応えて、詩編 8 5 を歌いましょう。答唱句はカトリック典礼聖歌集 323 「平和の歌 ヌチドゥタカラ」を使用します。

アレルヤ唱 ♪

お立ちください。今日私たちに告げられる福音を準備するために、アレルヤ唱を歌いましょう。

福音朗読 マルコによる福音（10 章 46 節～52 節）

The Gospel will be read in Spanish and in Japanese.

福音はスペイン語と日本語で朗読されます。

司式者（助祭） 主はみなさんとともに。  
参加者 また司祭とともに。  
司式者（助祭） マルコによる福音。

参加者 主に栄光。

司式者（助祭） キリストに賛美  
参加者 キリストに賛美

説 教 松浦悟郎 司教

## 信仰宣言

天地の創造主、全能の神である父を信じます。  
父のひとり子、おとめマリアから生まれ、  
苦しみを受けて葬られ、死者のうちから復活して、  
父の右におられる主イエス・キリストを信じます。  
聖霊を信じ、聖なる普遍の教会、聖徒の交わり、  
罪のゆるし、からだの復活、永遠のいのちを信じます。

## 共同祈願

The General Intercessions will be prayed in English, Hangul, Spanish,  
Vietnamise and Japanese. Let us say: ♪主よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。

共同祈願は、英語、ハングル、スペイン語、ベトナム語そして日本語で捧げられます。

点字パンフ 9 ページ。

司式者 主キリストを通してすべての人が父のもとに導かれ一つとなるように祈りましょう。  
参加者 （各意向の後に）主よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。  
司式者 いつくしみ深い神よ  
真に平和な世界を築くために、一人ひとりが忍耐を持って働くことができるよう力  
づけてください。あなたの似姿として造られたわたしたちがすべての人の前で、  
御子の愛をあかしすることができますように、わたしたちの主イエス・キリストに  
よって。  
参加者 アーメン。

## 感謝の典礼

### 奉納行列と奉納の歌

Now we enter into the Liturgy of the Eucharist. Today's contributions will be  
applied to the peace-promoting women's organizations in Okinawa.

これより感謝の典礼にはいります。本日の献金は、沖縄の平和団体に届けられます。さ  
さげものが祭壇にそなえられるあいだ、点字パンフ、墨字パンフともに 10 ページ、奉  
納の歌「主は水辺に立った」を歌いましょう。

パンとぶどう酒、献金が司教に手渡される時、

お立ちください。

## 奉納祈願

司式者 平和への祈りと決意を込めてここに供えるものを 平和の主が受け入れてくださるよう祈りましょう。

聖なる父よ、御子イエスは、わたしたちの間から憎しみを取り除くためにとうとい血を流されました。このささげものを受け入れ、争い悩む世界に和解と平和の恵みをお与えください。

わたしたちの主イエス・キリストによって。

参加者 アーメン。

## ゆるしの奉献文「奉献文」二 一人類の和解一

司式者 主はみなさんとともに。

参加者 また 司祭とともに。

司式者 心をこめて神を仰ぎ、

参加者 賛美と感謝をささげましょう。

司式者 父なる神よ、私たちの主イエス・キリストによって。

この世界でなしとげられた愛のみわざに感謝し、あなたをほめたたえます。

分裂と不和に苦しむ人類に いくつしみ深いあなたは一致への道を備えてくださいました。聖なる息吹を人々に注ぎ、敵対する人が対話に向かい、対立する人が互いに手を取り合い、平和のうちに歩むよう導いてくださいます。

ゆるす心を与えられた私たちは、今、世界の平和を求める人々とともに、天使の声に合わせ、あなたの偉大なわざをたたえて歌います。

## 感謝の賛歌

感謝の賛歌 ♪「サント：サント：サント」

司式者 あなたは和解の恵みを与えるため、救い主を遣わしてくださいました。

キリストこそ救いのみことば、罪びとに差し伸べられる手、まことの一致への道です。

あなたから遠く離れていた私たちが、キリストによって、あなたのもとに立ち帰り、互いに愛し合うよう、あなたは御子を死に渡されました。

この和解の神秘を喜び祝い、あなたに祈ります。

共同司式 キリストのことばに従ってささげるこの供えものを、

司 祭 団 聖霊によって + 聖なるものとしてください。

世の救いのため、

御子はいのちをささげる時が来たことを知り、

食事の間にパンを取り、

賛美と感謝をささげてこれを割き、

弟子に与えて仰せになりました。

「皆、これを取って食べなさい。

これはあなたがたのために渡される 私のからだである」

同じように、その夜  
杯を取り、あなたのいつくしみをたたえ、  
弟子に与えて仰せになりました。  
「皆、これを受けて飲みなさい。  
これは私の血の杯、あなたがたと多くの人のために流されて  
罪のゆるしとなる新しい永遠の契約の血である。  
これをわたしの記念として行いなさい」

司式者 信仰の神秘。

参加者 主の死を思い、復活をたたえよう、主が来られるまで。

司式者 いつくしみ深い父よ、  
御子はこの愛のしるしを教会に残されました。  
今、わたしたちは、主・キリストの死と復活の記念を行い、  
和解をもたらす、まことの供えものをささげます。

聖なる神よ、  
御子とともに、わたしたちを受け入れてください。  
この食卓にあずかるわたしたちに  
聖霊を注ぎ、分裂の痛みをいやしてください。  
わたしたちを、教皇ヨハネ・パウロⅡ世、  
司教レオ池長潤 補佐司教ミカエル松浦悟郎  
司教団、そして、あなたの民の交わりの中に保ってください。  
また、教会を全人類の一致のしるし、  
平和の道具として、光り輝くものにしてください。  
御子の食卓にわたしたちを集めてくださったように、  
神の母おとめマリアとすべての聖人とともに、  
あらゆる民族、言語の人々を、み国の祝宴に招いてください。  
ともに一つに結ばれて、あなたをほめたたえることができますように。

司式者 キリストによってキリストとともにキリストのうちに、  
聖霊の交わりの中で、全能の神、父であるあなたに  
すべての誉れと栄光は、世々に至るまで、

参加者 アーメン。

## 交わりの儀

### 主の祈り

[Let us recite the Lord's prayer in your own languages.](#)

司式者 主の教えを守り、みことばに従い、主の祈りをそれぞれ自分の言葉で唱えましょう。  
(会衆は自国語で唱える)  
天におられるわたしたちの父よ、み名が聖とされますように、み国がきますように、  
み心が天に行われるとおり、地にもおこなわれますように、  
私たちの日ごとの糧を今日もおあたえください。  
わたしたちをお許してください。わたしたちも人を許します。  
わたしたちを誘惑におちいらせず、悪からお救いください。

### 副文



司式者 　　いつくしみ深い父よ、すべての悪からわたしたちを救い、  
現代に平和をお与えください。  
あなたのあわれみに支えられ、悪から解放されて、  
すべての困難に打ち勝つことができますように。  
わたしたちの希望、救い主イエス・キリストがこられるのを待ち望んでいます。

参加者 　　国と力と栄光は、限りなくあなたのもの。

### 教会に平和を願う祈り

司式者 　　主イエス・キリスト、あなたは仰せになりました。  
「わたしは平和をあなたがたに残し、わたしの平和をあなたがたに与える」  
わたしたちの罪ではなく教会の信仰を顧み、  
おことばの通り教会に平和と一致をお与えください。

参加者 　　アーメン

### 平和のあいさつ （自由な形で時間をかけて・・・）

司式者 　　主の平和がいつもみなさんとともに。  
参加者 　　また司祭とともに。  
司式者 　　互いに平和のあいさつを交わしましょう。

### 平和の賛歌 　　♪「キリストの平和」

### 拝領前の信仰告白

司式者 　　神の食卓に招かれた者は幸い。  
参加者 　　主よ、あなたは神の子キリスト、永遠のいのちの糧、  
あなたをおいてだれのところに行きましょう。

ご着席ください。

カトリックの洗礼を受け、聖体拝領を希望する方は、前列より司祭の前にお進みください。洗礼を受けておられない方で、祝福を希望される方は、司祭の前で頭を下げ、両手を合わせて合掌してください。

### 拝領の歌

点字パンフ 19 ページ、墨字パンフ 13 ページ、拝領の歌「主の恵みにいま」をうた  
いましょう。続いて「マラナタ」

### 感謝の祈り（拝領祈願）

お立ちください。

司式者 　　全能の神よ、一つのパンで養われた わたしたちの心を強めてください。



わたしたちが対立を乗り越え、あなたの愛と正義にしたがって、  
平和な世界を造ることができますように。  
わたしたちの主イエス・キリストによって。  
アーメン。

参加者

## 閉 祭

### お知らせ

Here are two pieces of important information :

No.1 is there will be a happy gathering right after this mass in front of the rectory of Tamatsukuri Church. Cold beer, delicious juice, some candy, all made in Okinawa will be on sale. Come and enjoy yourself.

No. 2 is about “Okinawa Study Tour” which has been prepared by Osaka Justice and Peace Committee. The date for it is during November from 22<sup>nd</sup> to 25<sup>th</sup>, in 2001. Anybody is welcome to join us. The details are in the brochure, some of which are on the table in the way out. Anybody who is interested in it, take a copy of the brochure, study it, and join us.

平和旬間実行委員会からと、大阪教区「正義と平和」協議会からの二つのお知らせがあります。

平和旬間実行委員会から

この後、駐車場の一部、玉造教会司祭館の前で交流会が行われます。沖縄の飲み物やおつまみ、お菓子などが販売されます。お時間のある方はどうぞ、ご参加ください。

大阪教区「正義と平和」協議会から

日本正義と平和協議会では、毎年各教区持ち回りで主催教区となり、全国集会を開催してきましたが、今年は、大阪教区「正義と平和」協議会が主催することになりました。これまで、主催教区内で開催されてきましたし、また、その内容も分科会、講演会など

でしたが、今回は、沖縄で開催し、全て現地学習という企画です。

開催日は、11月22日から25日までの期間です。

詳しいことは受付のテーブルにパンフレットを置いていますので、関心のある方はお持ち帰りくださって、ぜひ一人でも多くの方のご参加をお願いします。

### 派遣の祝福

司式者 主はみなさんとともに。

参加者 また司祭とともに。

司式者 全能の神、父と子と聖霊の祝福が + 皆さんの上にありますように。

参加者 アーメン。

### 閉祭のあいさつ

司式者 感謝の祭儀を終わります。  
行きましょう、主の平和のうちに。

参加者 神に感謝。

### 派遣の歌

司教ならびに司祭団が退堂します。一人ひとり、キリストから平和のために派遣されていることを意識しつつ、派遣の歌「私たちの平和—キリスト」を歌いましょう。

### 歌い終わってから

The Mass for peace is ended. Thank you for participating in this joyous gathering, and may the peace of the Lord be in all of your hearts.

これを持ちまして教皇来日二十周年を記念する平和祈願ミサを終わります。本日は、本当にありがとうございました。